

## 平成 26 年度全国保健師長会北関東・甲信越ブロック研修会報告

【日時】平成 26 年 9 月 20 日（土）10：00～15：30

【場所】山梨県防災新館 1 階オープンスクエア

【参加者数】63 人

【内容】

(1) 調査研究報告

「ソーシャルキャピタルの醸成や活用にかかる保健師活動のあり方に関する研究」

全国保健師長会常任理事（大阪市保健所） 松本珠実

(2) 活動紹介「愛育会活動 DVD：偉人伝」 山梨県南アルプス市 小林千江

(3) 実践活動報告

<報告 1> 「新型インフルエンザ発生時の保健所 BCP 作成と

それを活用したストリートワイド訓練等への参画」

茨城県ひたちなか保健所 板倉裕子

<報告 2> 「分散配置のなかでのエリアマネージャー体制推進の経過報告」

前橋市保健所 塚越弥生

<報告 3> 「現任教育の中核となる保健所における取り組みについて」

山梨県中北保健福祉事務所 渡辺千奈美

(4) グループワーク「地域における保健師の保健活動について」

調査研究報告をとおして、「ソーシャルキャピタルの醸成」の意義、展開方法、実践者の育成等について理解が深まり、各地域における課題も見えてきました。実践活動報告は、各支部から①保健師現任教育の推進、②統括的役割の保健師の活動、③地区担当制と地区活動の推進、④その他先進的な活動事例の4つをテーマで募集し、報告のあった10事例は「実践活動報告集」にまとめ、研修会では上記の3事例を発表しました。

研修会全体をとおして、人材育成、組織横断的な仕事のあり方、地区担当制と地区活動、統括的役割の保健師のあり方等、有意義な意見交換ができました。



研修会の様子

調査研究報告（ソーシャルキャピタル）

（記：北関東・甲信越ブロック理事 河西文子）